

## 第7回国際小児保健学会学術大会 2023

### シンポジウム

#### 「障害児・者への支援と海外医療協力の可能性」

#### 「ケニアの障害児者の状況とニーズ」

#### ～共に生きる社会を築くために～

シロアムの園 代表

公文 和子

持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標は世界中のすべての人たちが様々な違いを尊重し合い、共に助け合い、喜び合い、共に生きる社会を作っていくことを目指している。ケニアの障がい児は、ケニアの健常児と違い、日本の障がい児とも違い、またケニアの障がい児とひとくくりにしても、それぞれ状況もニーズも違う。そのように様々な違いのある子どもたちが、社会の一員として可能性を活かして生きていくことができていない背景に、一人ひとりのニーズに合った教育や医療へのアクセス、インフラや交通機関、差別や偏見、福祉や社会保障の制度など、様々な問題がある。これらの問題は、個人レベル、地域レベル、行政レベル、そして更に地球レベルで考えていかなければならないことである。

「シロアムの園」はケニアの障がい児とその家族、そして地域と共に歩むことを通し、一人ひとりの可能性が活かされ、共に生きる社会を目指している。子どもたちの障がいは脳性麻痺や神経発達症、その程度も様々であるが、社会の一員として生きていくことを拒絶されている子どもたちが殆どである。本講演では、様々なニーズに取り組むシロアムの園の活動を紹介し、ケニアにおいても、世界のどこにおいても、共に生きる社会を築くことの意味を共に考えたい。